

## 指定管理評価表(美方高原自然の家)

令和2年3月31日現在

施設概要	尼崎市立美方高原自然の家(兵庫県美方郡香美町小代区新屋1432-35) 休所日:月曜日、年末年始 施設設置目的:豊かな自然の中での野外活動及び集団活動を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、市民に自然と親しむレクリエーション活動の場を提供することにより、自然への理解を深め、余暇の活用を図る。 事業内容:野外活動の場の提供・指導、野外活動指導者及び青少年団体指導者の研修に関することなど。			
指定管理者の名称	公益財団法人 日本アウトワード・バウンド協会			
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日			
業務概要	美方高原自然の家の維持管理業務 自然学校に関する事業等			
利用状況等	項目名	令和元年度	平成30年度	平成29年度
	貸室利用者数	33,749 人	33,676 人	34,791 人
	貸室稼働率	35.3 %	36.1 %	36.2 %
	自主事業開催数	25 回	39 回	53 回
	自主事業参加者数	357 人	552 人	984 人
所管課・所管課長名	子ども青少年局子ども青少年部青少年課・藤川 浩志			
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
<b>1 サービスの質の維持・向上</b>		<b>A</b>	利用者目標達成に向け、SNSの活用、緊急バス吊り広告や高速SAのフリーペーパー広告等及びホームページの日々のブログの更新、自主事業のインターネット受付を行うなど、利用者の掘り起こしに努めている。利用者との要望についても可能なものは順次取り入れを行っており、サービスの向上に意識的に取り組んでいる。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
<b>2 適正な施設の管理</b>		<b>A</b>	きめ細やかな施設点検、早期の修繕対応により、施設は清潔に保たれている。災害時や野外活動での傷病者の発生など様々なケースを想定した緊急時マニュアルを作成しており、その内容も適宜更新を行い、研修等を通じて全職員が対応できる体制となっている。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
<b>3 収支・経費節減</b>		<b>B</b>	収支状況は適正であるほか、予防保全を心がけることで、計画的に施設の維持管理を行い、経費節減に取り組んでいる。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
<b>4 指定管理者の経営状況等</b>		<b>B</b>	適正な会計手続きがなされており、経営状況についても問題は無いと判断する。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
<b>5 その他</b>		<b>A</b>	文書等は、適切に管理されている。また、内部評価については、理事会において成果発表を行い、評価を受けている。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
・自然学校事業の展開 ・野外活動事業への支援指導 ・自主事業(指導者養成事業、青少年育成事業、家族対象自然体験事業、日帰り利用促進自然体験事業)	地元住民との協働の取組みの一つとして、食堂で使用するお米(地元米)の提供を受け、地産地消を推奨した食育活動を推進するなどして、積極的に地域との繋がりを深めている。また利用者の野外活動を支援する指導者の確保にも力を入れており、他では経験できない豊かな自然を使った質の高い自然体験を提供できる環境は、利用者からも満足度の高い評価を得ている。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
<b>A</b>	自然学校利用者が少子化等の影響により年々減少傾向であるなか、SNS等を使った新たなPR手法の導入やサービスの向上に取り組むことで、利用者数の目標値を達成するため、新規利用者の掘り起こし及びリピーターの確保に努めている。施設管理面においては、施設が23年経過しており老朽化、また雪害の影響も大きい中、きめ細やかに施設の点検、修繕を行い、施設を清潔に保つことで、利用者が快適に利用できる環境が整えられているが、高圧受電設備の経年劣化や給湯配管等の漏水の対策が必要であるなど老朽化対策が今後の管理運営上の課題である。緊急時や野外活動時の安全面については、詳細なマニュアルが作成されており、経費削減についても全職員が徹底して取り組むなど、質の高い管理運営が行われている。

※ 評価は、A～Eの5段階評価とする。

※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1～5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。

D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。